

子どもも若い親も高齢者も同じ居場所で過ごせる「場づくり」支援を

平成 28 年 12 月 14 日

NPO法人わははネット 中橋恵美子

【子ども×お年寄り】子どもにとってもパパママにとってもお年寄りにとっても、想像以上の効果のある「地域共生型の居場所づくり」を継続的、安定的そして包括的に地域が主体となりに運営できるサポート支援の仕組み作りを

【高松市のケースの紹介】

高齢者の居場所づくり

平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 年間でおおむね徒歩圏内に 1 か所を目安として 300 か所程度の高齢者（概ね 65 歳以上）の居場所をすすめている。（現在 208 か所）

実施主体は自治会や趣味の会、有志の会、老人クラブや NPO など様々。実施場所は地域の集会所や NPO 等の施設、コミュニティセンターや児童館等様々。

施設整備費として開設時に上限 20 万、備品購入上限 10 万、運営助成金として最大月 7 万の助成。

子どもとのふれあい活動実施に対して加算金あり。

★効果★

平成 27 年度介護保険新規認定者率 65 歳以上 112,412 人 4.21%

居場所を利用している 65 歳以上の新規認定者率 4,591 人 0.52%

約 8 倍の差

（◆介護保険制度改正に伴う地域支援事業の見直しにより地域支援事業として一般介護予防事業の中で高齢者の居場所づくりが行われている）

親子の居場所づくり

地域子育て支援拠点数 31 か所（保育所や NPO 等が運営。保育所併設、空き店舗や民家等）



子どもにとって  
見守ってくれるお年寄り  
ゆっくりと関わってもらえる。  
無条件に大事にして  
もらえる



高齢者にとって  
お世話をしたくなる対象  
役立ち感  
子育ての先輩の知恵

若い親にとって  
ゆとりをもって子育てを  
教えてくれる存在  
子どもと一緒に見守り育て  
てくれる地域の力

居場所コーディネーターが支援することで質の高い地域の居場所を継続運営可能にする支援を。

